

④ 建物

C0401 建物用途別現況

都市計画区域における用途別の棟数比率をみると、住宅が74.4%と最も高く、次いで工場が4.6%となっている。

用途地域指定区域では、住宅が76.6%と最も高く、次いで文教厚生施設が4.3%となっている。

地区別では全ての地区で住宅が最も高い値を示している。次いで北原で工場が22.4%、大芝で文教厚生施設が20.0%、沢尻で共同住宅が14.2%となっている。

表4-1 建物用途別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	1. 業務施設			2. 商業施設					
				(1)			(2)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	213	35,660	53,017	118	37,495	58,210	52	8,783	11,260
非線引き用途地域	118	18,510	26,607	64	20,481	34,200	28	4,042	5,856
非線引き用途白地	95	17,150	26,410	54	17,014	24,010	24	4,741	5,404

区域区分	2. 商業施設								
	(3)			(4)			(5)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	35	6,285	7,211	1	114	458			
非線引き用途地域	14	1,275	1,451	1	114	458			
非線引き用途白地	21	5,010	5,760						

区域区分	2. 商業施設						3. 宿泊施設		
	(6)			(7)					
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	5	3,967	4,623	2	2,490	2,490	29	6,181	13,524
非線引き用途地域	1	152	305				6	1,358	4,407
非線引き用途白地	4	3,815	4,318	2	2,490	2,490	23	4,823	9,117

区域区分	4. 商業系用途複合施設			5. 住宅			6. 共同住宅		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域				7,348	693,015	1,012,109	334	57,096	115,751
非線引き用途地域				4,250	396,647	557,276	213	35,015	67,088
非線引き用途白地				3,098	296,368	454,833	121	22,081	48,663

区域区分	7. 店舗等併用住宅			8. 店舗等併用共同住宅			9. 作業所併用住宅		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	159	18,660	29,647	12	1,846	5,758	92	10,809	16,129
非線引き用途地域	96	12,091	18,783	5	769	1,742	50	6,107	8,936
非線引き用途白地	63	6,569	10,864	7	1,077	4,016	42	4,702	7,193

区域区分	10. 官公庁施設			11. 文教厚生施設					
				(1)			(2)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	29	3,886	8,715	80	33,442	56,181	87	42,454	75,703
非線引き用途地域	23	3,526	8,284	73	27,792	47,882	80	37,420	69,581
非線引き用途白地	6	360	431	7	5,650	8,299	7	5,034	6,122

区域区分	11. 文教厚生施設								
	(3)			(4)			(5)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	48	14,251	20,461	23	5,724	8,398	4	2,664	5,115
非線引き用途地域	29	9,860	15,682	3	2,746	5,420	3	651	1,089
非線引き用途白地	19	4,391	4,779	20	2,978	2,978	1	2,013	4,026

区域区分	11. 文教厚生施設						12. 運輸倉庫施設		
	(6)			(7)			(1)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	58	25,770	28,923	40	3,559	4,180	4	172	172
非線引き用途地域	17	3,407	4,276	32	3,076	3,697	4	172	172
非線引き用途白地	41	22,363	24,647	8	483	483			

区域区分	12. 運輸倉庫施設						13. 工場		
	(2)			(3)			(1)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	203	104,591	123,237				1	35	35
非線引き用途地域	78	14,877	16,892				1	35	35
非線引き用途白地	125	89,714	106,345						

区域区分	13. 工場								
	(2)			(3)			(4)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	263	150,370	286,355	144	40,313	56,063	27	3,673	3,639
非線引き用途地域	124	54,475	89,789	62	18,003	21,956	19	1,545	1,545
非線引き用途白地	139	95,895	196,566	82	22,310	34,107	8	2,128	2,094

区域区分	13. 工場			14. 農林漁業用施設			15. 供給処理施設		
	(5)								
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	18	4,686	5,477	417	74,365	76,549	34	3,202	4,931
非線引き用途地域	12	2,478	2,519	125	10,258	11,048	15	2,522	4,193
非線引き用途白地	6	2,208	2,958	292	64,107	65,501	19	680	738

区域区分	16. 防衛施設			17. その他			18. 不明		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域				2	30	30			
非線引き用途地域									
非線引き用途白地				2	30	30			

注) 非課税分を含む

C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況

1) 建物階数別現況

都市計画区域における階数別の棟数比率をみると、地上1階が66.8%と最も高く、次いで地上2階が32.0%となっている。

用途地域指定区域も同様に、地上1階が72.7%と最も高く、次いで地上2階が26.2%となっている。

地区別では全ての地区で地上1階が最も高い値を示しているが、田畑、神子柴、沢尻、南原、大芝では70%以上と特に高い値を示している。

表4-2 建物階数別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	地上1階	地上2階	地上3階	地上4~5階	地上6~7階	地上8~10階	地上11~15階	地上16階以上	不明
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	6,605	3,159	90	21	6	1			
非線引き用途地域	4,030	1,453	48	12	2	1			
非線引き用途白地	2,575	1,706	42	9	4				

注) 非課税分を含む

2) 建物構造別現況

都市計画区域における構造別の棟数比率をみると、木造が70.6%と最も高く、次いで非木造が27.5%となっている。

用途地域指定区域も同様に、木造が72.6%と最も高く、次いで非木造が25.0%となっている。

地区別では全ての地区で木造が最も高い値を示しているが、北殿、南殿、沢尻では75%以上と特に高い値を示している。

表4-3 建物構造別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	木造	非木造	鉄筋コンクリート造
	棟	棟	棟
都市計画区域	6,977	2,716	189
非線引き用途地域	4,028	1,386	132
非線引き用途白地	2,949	1,330	57

注) 非課税分を含む

3) 建物建築面積現況

都市計画区域における建築面積別の棟数比率をみると、150㎡以下が29.0%と最も高く、次いで50㎡以下が24.9%、75㎡以下が23.8%となっており、平均面積は141㎡となっている。

用途地域指定区域も同様に、150㎡以下が29.6%と最も高く、次いで50㎡以下が26.4%、75㎡以下が22.5%となっており、平均面積は124㎡となっている。

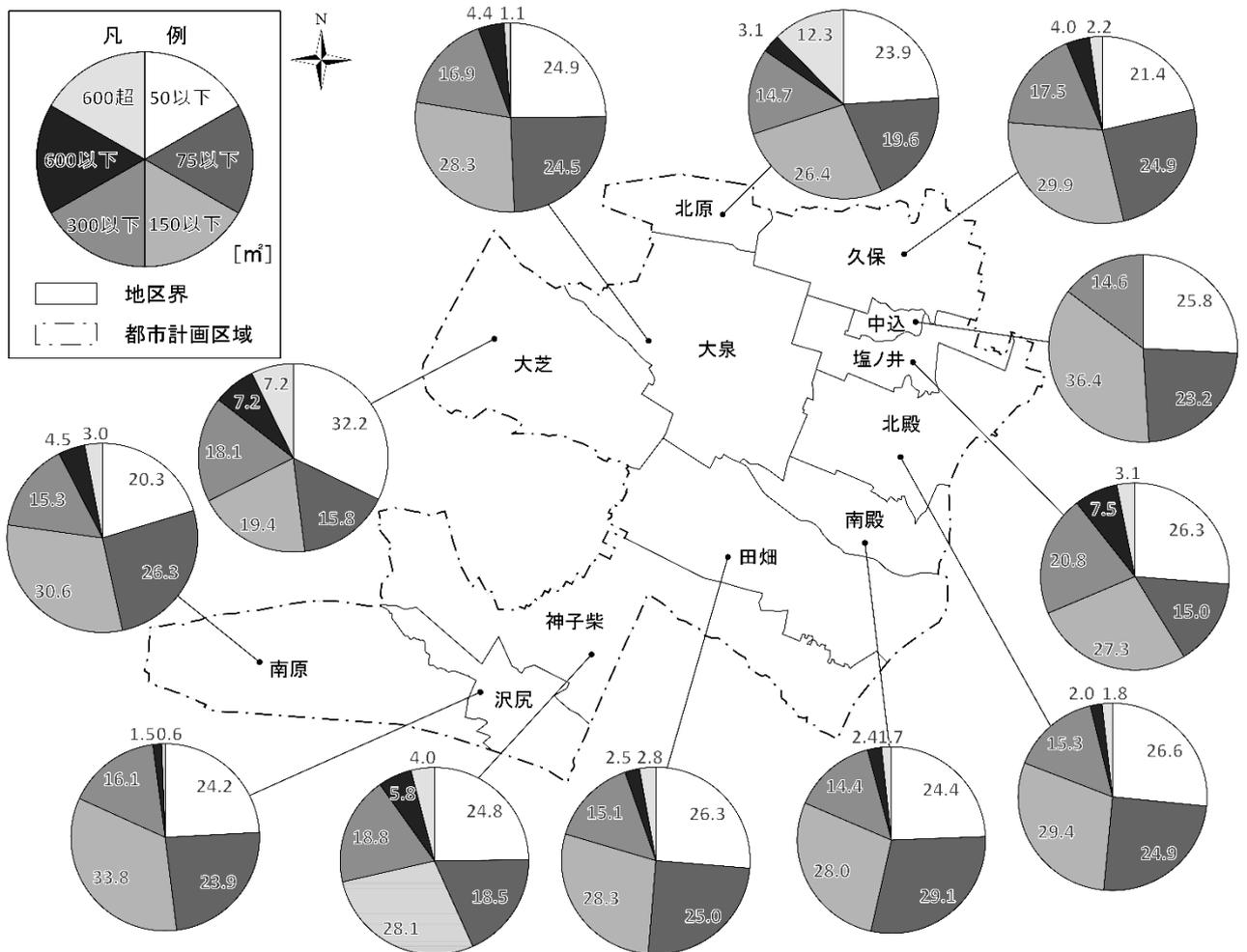
地区別ではほとんどの地区で150㎡以下が最も高い値を示しているが、南殿では75㎡以下が29.1%と最も高く、大芝では50㎡以下が32.2%と最も高くなっている。

表4-4 建物建築面積現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	50㎡以下	75㎡以下	150㎡以下	300㎡以下	600㎡以下	600㎡超	不明	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
都市計画区域	2,458	2,349	2,867	1,610	347	251		1,395,616	141
非線引き用途地域	1,462	1,248	1,639	941	167	89		689,419	124
非線引き用途白地	996	1,101	1,228	669	180	162		706,197	162

注) 非課税分を含む



4) 建物延床面積現況

都市計画区域における延床面積別の棟数比率をみると、150㎡以下が35.5%と最も高く、次いで300㎡以下が21.9%、50㎡以下が20.6%となっており、平均面積は211㎡となっている。

用途地域指定区域も同様に、150㎡以下が35.5%と最も高く、次いで300㎡以下が22.3%、50㎡以下が21.8%となっており、平均面積は185㎡となっている。

地区別ではほとんどの地区で150㎡以下が最も高い値を示しているが、塩ノ井では300㎡以下が23.2%と最も高く、大芝では50㎡以下が30.9%と最も高くなっている。

表4-5 建物延床面積現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	50㎡以下	75㎡以下	150㎡以下	300㎡以下	600㎡以下	600㎡超	不明	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
都市計画区域	2,038	905	3,504	2,163	861	411		2,094,382	211
非線引き用途地域	1,207	527	1,970	1,234	440	168		1,031,186	185
非線引き用途白地	831	378	1,534	929	421	243		1,063,196	245

注) 非課税分を含む

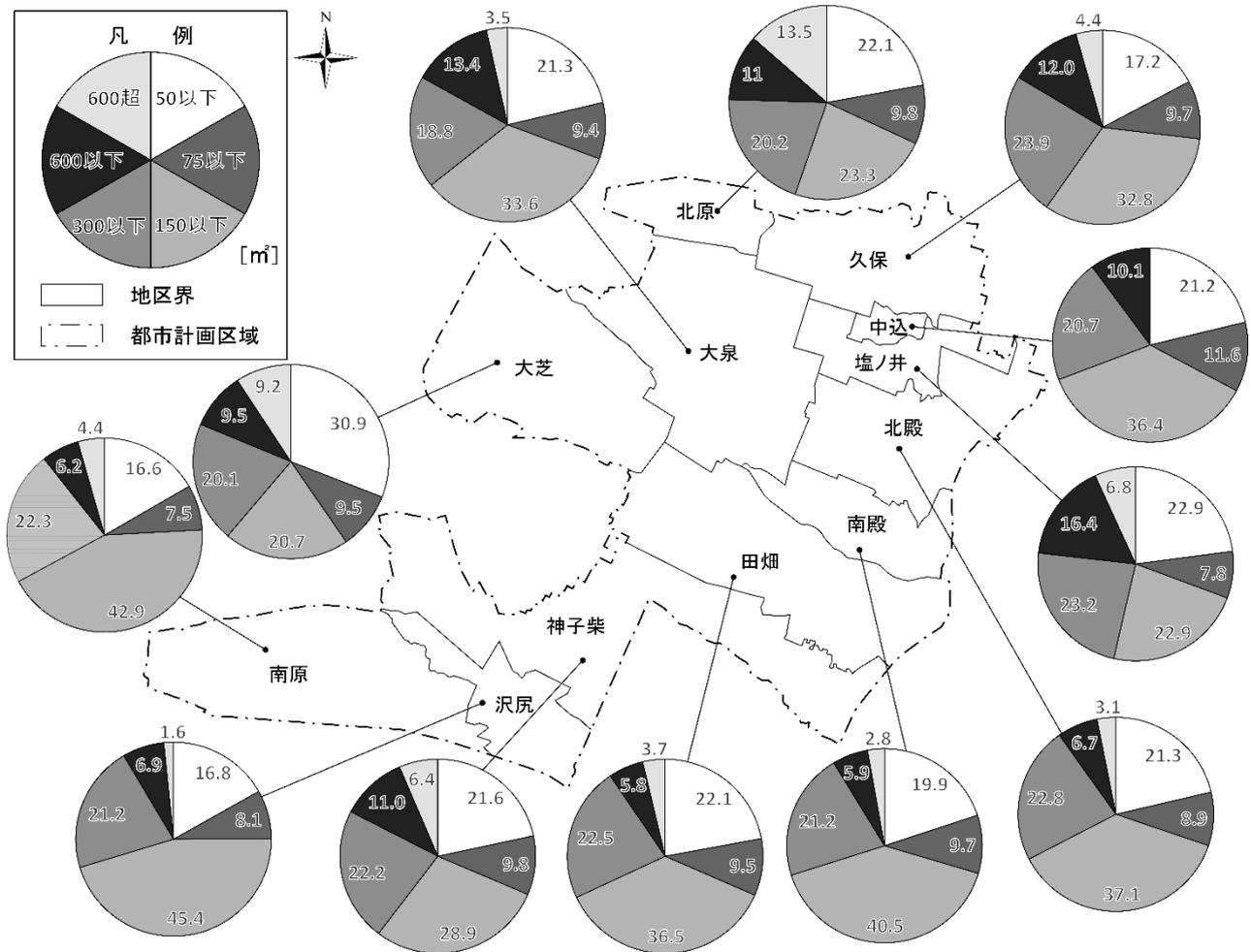


図4-2 地区別延床面積構成比

5) 建物建築年現況

都市計画区域における建物建築年現況は、昭和56年以前が2,950棟と全体の29.9%を占めている。

地区別では、建物建築年が昭和56年以前の建物の割合が中込で50.0%と最も高く、続いて塩ノ井が42.7%、大泉が34.4%となっている。都市計画区域の北部では築年数が古い建物の割合が高く、南部では築年数が浅い建物の割合が高い。

表4-6 建物建築年現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	昭和56年以前			昭和57年～昭和62年			昭和63年～平成9年		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	2,950	404,512	547,520	1,002	188,630	326,444	1,903	273,832	445,329
非線引き用途地域	1,899	249,220	341,038	601	100,041	171,849	1,084	129,783	198,595
非線引き用途白地	1,051	155,292	206,482	401	88,589	154,595	819	144,049	246,734

区域区分	平成10年～平成19年			平成20年～平成29年			平成30年～		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	1,276	158,254	252,817	1,189	122,135	190,108	574	115,428	157,333
非線引き用途地域	676	76,989	117,689	503	45,340	75,789	282	38,103	51,028
非線引き用途白地	600	81,265	135,128	686	76,795	114,319	292	77,325	106,305

区域区分	不明		
	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²
都市計画区域	988	132,819	174,824
非線引き用途地域	501	49,939	75,194
非線引き用途白地	487	82,880	99,630

注) 非課税分を含む

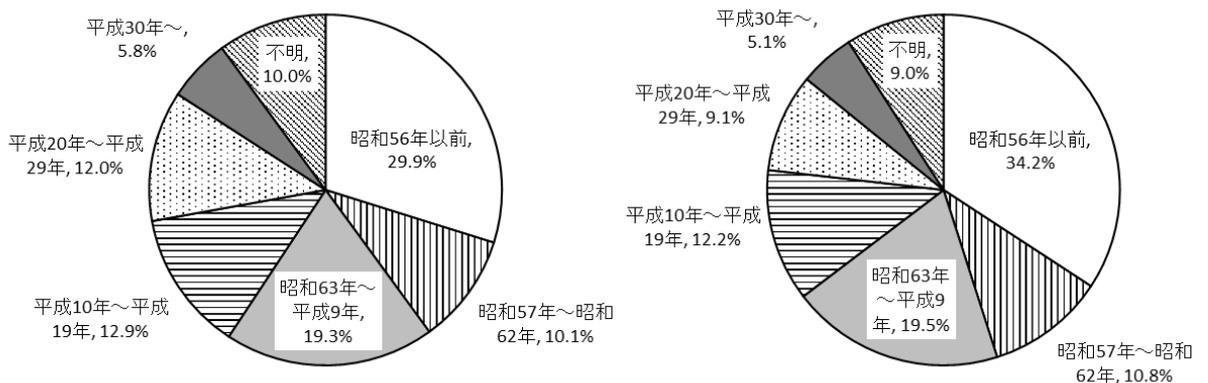


図4-3 建物建築年別構成比 (都市計画区域・用途地域指定区域)

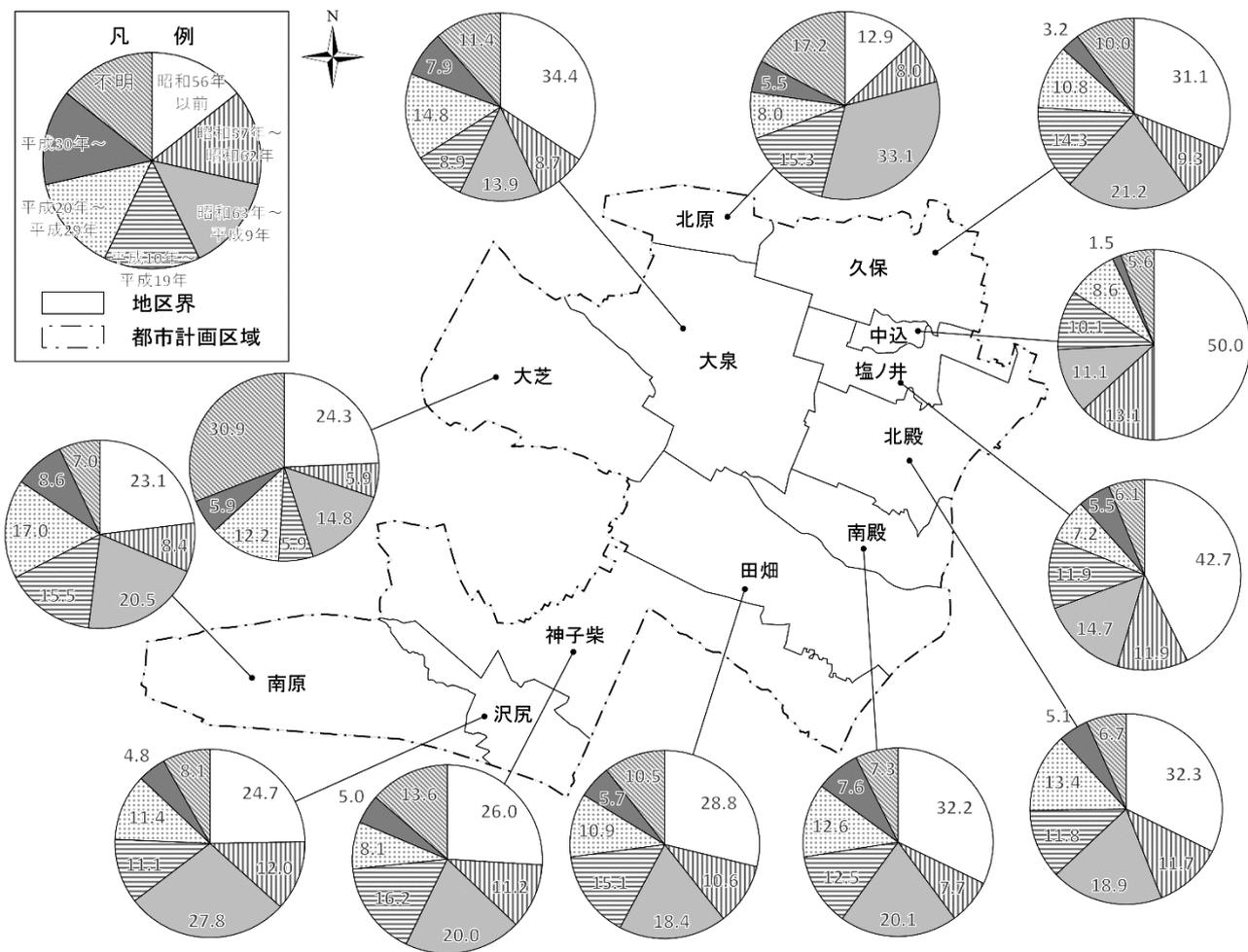


図4-4 地区別建築年構成比

6) 建物高さ現況

都市計画区域における高さ別の棟数比率をみると、10m以下が99.1%と最も高くなっている。用途地域指定区域も同様に、10m以下が99.3%と最も高くなっている。地区別では全ての地区で10m以下が95%以上と最も高くなっている。

表4-7 建物高さ現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	5m以下	10m以下	12m以下	15m以下	20m以下	25m以下	30m以下	35m以下	40m以下	45m以下	45m超	不明
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	55	9,794	1	19	9	3	1					
非線引き用途地域	25	5,506		10	4		1					
非線引き用途白地	30	4,288	1	9	5	3						

注) 非課税分を含む